

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
経営財務論Ⅱ financial managementⅡ		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	特になし	
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
経営学Ⅰ・Ⅱ、経済学、ビジネス実務総論Ⅰ・Ⅱ、証券と金融Ⅰ・Ⅱ、経済学、ファイナンシャルプランナーⅠ・Ⅱ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
経営学Ⅱ、ビジネス実務総論Ⅱ、証券と金融Ⅱ、ファイナンシャルプランナーⅡ				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
國分三郎	本館 2F	木曜日 12:10~13:00		授業中に指示します
授業の概要				
経営財務論Ⅰで学んだ経営財務論の基本的な概念や理論に基づき、企業の財務活動を考える。ここでは、企業の資金運用・調達行動を考察したのちに投資行動の決定基準を考察する。さらに、不確実性を考慮した投資の決定基準を取り上げる。				
授業の目標				
①現代企業の投資行動を理論的に考え説明できるようにする。 ②今日の代表的な投資判定基準の長所短所を説明できるようにする。 ③今日の企業の投資行動に関する新聞やTVのニュースを理論的に捉え初歩的な解説ができるようにする。				
授業の方法				
基本的に講義方式であるが出来るだけ対話方式を取り入れて受講者の理解を深めたい。また、理論だけではなく事例計算も取り入れる。				
学習の成果(学習成果)				
現代企業の投資判定の基準を理解して、企業の合理的な投資行動を理論的に考えることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	はじめに(シラバスの説明、講義の狙いと進め方、成績評価の説明、受講の態度の説明)			
第2回目	資本運用の意義(経営財務からみた企業の行動、経常支出と資本支出、例外事例)			
第3回目	投資の分類(投資とは、Jeol Deanの投資分類、独立的投資と相互排斥的投資)			
第4回目	投資プロジェクトの分析(投資プロジェクトの分析とは、投資プロジェクトの基礎概念、投資プロジェクトの過程)			
第5回目	投資の確実性と不確実性(確実な投資プロジェクトと不確実な投資プロジェクト)			
第6回目	回収期間法(回収期間法とは、投資プロジェクトの採択、回収期間法の長所と問題点)			

第7回目	会計の利益率法(会計の利益率とは、会計の利益率法による投資の評価、会計の利益率法の問題点)		
第8回目	年額原価法(年額減価法により投資の評価、年額原価法の問題点)		
第9回目	現在価値法(貨幣の時間価値を考慮した評価法、現在価値の計算、現在価値法による投資の決定) 小テスト		
第10回目	年々のキャッシュフローが等しいときの現在価値計算		
第11回目	内部収益率法(内部収益率とは、内部収益率法による試行錯誤法)		
第12回目	補完法による内部収益率の正確な計算		
第13回目	投資プロジェクトの順位づけ(評価が相反するプロジェクトの評価)		
第14回目	経営財務論Ⅱに関する理解度を確認するため、講義全般の範囲を対象とした試験		
第15回目	まとめと講義の振り返り(授業の補足すべき内容の説明や受講者からの質問に答える)		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
	授業参加態度	30%	最高水準(S)としては無遅刻・無欠席で、授業に集中し講義への質問を積極的に行う。
	レポート		
	調査報告書		
	小テスト	10%	最高水準(S)としては、5つの専門用語を90%の正解をもって解答する。
	試験	60%	最高水準(S)としては、課題の意図を理解して、必要な専門用語を使い論理的一貫性をもって論述する。
	発表内容(態度含む)		
	その他		
教科書と参考図書			
教科書は使用しない。必要になった場合、そのつど資料を配布する。			
履修上の留意点・ルール			
欠席や遅刻、私語は慎むこと。無断欠席:5点減点。遅刻2回:5点減点。飲食物の持ち込み禁止。携帯はマナーモードにすること。受講生は電卓を持参のこと。			